

頑張る地方応援プログラム

都道府県名	福岡県	市町村名	大任町
-------	-----	------	-----

プロジェクト名	観光振興・交流プロジェクト		
プロジェクトの目的、概要及び具体的な成果目標	<p>(目的、概要) 総合運動公園(野球場・総合グラウンド・キャンプ場等)やコミュニティーセンター、古墳公園などの各種施設を一体化し、文化やスポーツ及び憩いの場として総合的な観光拠点をつくる。また、隣接する道路、大任中央線(約6.3km区間)の歩道には桜やもみじを6m間隔で約2,000本植栽して遊歩道など街並み整備を進め、広域的な観光ルートを形成し観光拠点としての機能を高め、近隣市町村や都市圏からの交流を図り観光を推進し、この拠点一帯で様々なイベントを開催してハード・ソフトが一体となった地域振興を図る。</p> <p>また、現在、過疎化による少子高齢化のまちを将来的には若い人が住み続けたいと思うようなまちづくりを展開し、都市圏または近隣市町村からの定住者拡大を図ることにより、ますます町が活性化することを目標に整備を推進する。</p> <p>(具体的な成果目標) イベントによる集客数 花いっぱい大任マラソン H18年度 2,200人 → H21年度 2,400人以上 しじみ祭り H18年度 300人 → H21年度 400人以上</p> <p>人口減少数 H18年度 △39人 → H21年度 +30人以上</p>		
プロジェクトの期間	平成19年度～平成21年度	政策分野の分類 (①～⑪)	⑥
住民への公表の方法 (ホームページアドレス等)	http://town.oto.fukuoka.jp/kouhyo/ganbaru%20chihou.pdf		

プロジェクトを構成する具体の事業・施策

名称	事業概要	事業費 (単位：千円)
中央公園整備事業	大任町のほぼ中央に位置する総合運動公園(野球場・総合グラウンド・キャンプ場等)内にある公園で、建徳寺古墳公園を取り囲む山の自然を生かしながら滝の整備による水とふれあえる環境づくりや、桜・もみじ・梅等の植栽を行った四季折々の景観を楽しめる憩いの場をつくり、また、この拠点一帯で様々なイベントを開催してハード・ソフトが一体となった地域振興を図り、総合運動公園内の各種施設を一体化した総合的な観光拠点をつくる。	150,000 (50,000)
大任中央線道路改良整備事業	大任町の中央を南北に縦貫する主要道路で首都圏からの英彦山への観光ルートでもある大任中央線(約6.3km区間)に、隣接する農道及び遊休地を利用した遊歩道の設置、桜やもみじを6m間隔で約2,000本植栽した街並み整備。将来的には道の駅などを整備し「通行するだけの道ではなく足を止めたくなるような道への変貌」を施策として事業を推進し広域的な観光ルートとして近隣市町村や都市圏からの交流を図る。	900,000 (300,000)
総 計		1,050,000 (350,000)

その他特記事項

観光振興・交流プロジェクトにより、まちのイメージアップを図り「住みよい街づくり、住み続けたい街づくり、住んでみたい街づくり」をコンセプトに活気あふれる町へ変わるために事業をより一層推進し、将来的には大企業の誘致も視野に入れ取り組んでいる。

頑張る地方応援プログラム

都道府県名	福岡県	市町村名	大任町
-------	-----	------	-----

プロジェクト名	地域経営改革プロジェクト
---------	--------------

プロジェクトの目的、概要及び具体的な成果目標	<p>(目的、概要) 行政組織・運営の刷新をはじめとする行財政改革により、簡素で効率的な行政を実現するとともに、地域の新たな活力の創出に取り組むために、給与の適正化、職員定数の削減、民間委託等の行政の効率化、滞納対策による税収の確保、電子自治体の推進に取り組む。</p> <p>(具体的な成果目標) ①人件費の抑制 職員数H18年度67人→H21年度60人 ②税収の増加 徴収率H18年度96.9%→H21年度98%</p>		
------------------------	--	--	--

プロジェクトの期間	平成19年度～平成21年度	政策分野の分類 (①～⑫)	①
-----------	---------------	------------------	---

住民への公表の方法 (ホームページアドレス等)	http://www.town.oto.fukuoka.jp/newest.asp?mode=fnd&id=341
----------------------------	---

プロジェクトを構成する具体の事業・施策

名称	事業概要	事業費 (単位：千円)
戸籍電算化事業	戸籍を電算化することにより、事務の簡素化を進め、各種証明書等の交付が短時間で行われ、これまで長い時間住民を待たせていたのが、短縮され、住民サービスの向上に寄与し、また事務が簡素化される事により人件費の削減にも寄与する。	46, 200 (46, 200)
地番図電算化事業	航空写真と字図を電算機を利用して合体させ、行政事務に活用することにより、これまで従来の字図では実際の現地の番地等の確認に時間がかかっていたのが短縮され、その時間を徴収の強化にあてられ、徴収率の向上に寄与する。	5, 943 (5, 943)
総 計		52, 143 (52, 143)

その他特記事項

--